

PRESS RELEASE

2021. 7. 9

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第59回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,210社にアンケート調査を実施し、1,204社から得た回答（有効回答率99.5%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIは、やや改善」

【概況】

2021年4~6月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2021年1月～3月「以下同じ」）の▲32.1から▲28.2へと3.9ポイントのやや改善となった。

業種別にみると、建設業（前回調査▲19.9→今回調査▲25.6）が悪化したものの、不動産業（▲19.6→▲10.6）、サービス業、製造業、卸売業、小売業がそれぞれマイナス幅を縮小し、改善した。

これを地区別の業況DIでみると、中部地区が横ばいながら、東部地区、西部地区はやや改善した（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも、依然として悪化水準は高く、コロナ禍の影響が続くことを懸念している。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

	2019年				2020年				2021年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9 (見通し)
東部地区	▲16.9	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲67.0	▲50.9	▲26.2	▲40.2	▲38.0	▲37.5
中部地区	▲3.4	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲53.7	▲59.6	▲39.7	▲26.6	▲26.4	▲21.5
西部地区	▲8.5	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲71.0	▲63.6	▲41.3	▲29.1	▲23.0	▲31.0
県内計	▲9.7	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲67.0	▲59.1	▲36.4	▲32.1	▲28.2	▲31.6

2021年7~9月の業況見通しは、中部は改善しているものの、東部はほぼ横ばい、西部は悪化の見通しとなっていることから、県全体ではやや悪化の予想となっている。

■東部

東部では、卸売業が▲13.6 ポイント ($\Delta 23.5 \Rightarrow \Delta 37.1$)、建設業が▲11.6 ポイント ($\Delta 12.1 \Rightarrow \Delta 23.7$) と悪化したもの、サービス業が 15.7 ポイント ($\Delta 84.3 \Rightarrow \Delta 68.6$)、製造業が 10.0 ポイント ($\Delta 48.1 \Rightarrow \Delta 38.1$) と改善し、小売業 ($\Delta 45.8 \Rightarrow \Delta 45.2$)、不動産業 (0.0⇒0.0) が横ばいであったことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲40.2 から▲38.0 とやや改善となった。

製造業

業況は、コロナ禍の影響が続いているものの、回復傾向にあることから、改善している。

今後の見通し(2021年7～9月期・以下同じ)としては、長引くコロナ禍の影響で、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・受注が徐々に回復。ガソリン車から電気自動車へのシフトが課題。 (自動車部品製造業)
- ・コロナ禍によるテイクアウト需要の増加により受注が増加。 (紙加工品製造業)
- ・鋼材関連の価格高騰により利益率悪化。 (鉄鋼板金・製作加工)

卸売業

業況は、仕入価格の上昇や材料不足等による売上の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の増加などから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・不漁、魚価の高騰、コロナ禍の影響等により倒産する企業もある。 (乾物卸売業)
- ・GoToトラベルの一時中止、緊急事態宣言により取引先の活動が減退。業況は極めて厳しい。 (食肉卸)
- ・飲食店の時短営業等の影響で売上が減少。 (業務用洗剤・厨房備具卸売業)
- ・テレワークやネット会議の普及により、紙の消費が減少。 (紙販売・紙器製造卸売業)
- ・ウッドショックによる仕入価格の上昇を価格転嫁できず収益が減少。 (材木建材卸売業)

小売業

業況は、コロナ禍の影響で活動自粛やイベントの休止が続いているため、ほぼ横ばいである。

今後の見通しとしては、正常化するには時間を要するとの予測から、業況はやや悪化し、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・近隣地域では少しずつスポーツ活動が再開されてはいるが、学校の部活動の縮小やスポーツ大会の中止により、恒常的な売上が戻ってこない。 (スポーツ用品)
- ・代表者の離脱の際、事業継続するか否かが課題。また、廃業・倒産・他社への流出による取引先の減少も懸念。 (事務機器・文具販売)
- ・原油価格の値上げ分を価格に上乗せできず、利益率が悪化。 (ガソリン販売)
- ・巣ごもり需要の影響もあり、業況は安定している。人材不足の解消が課題。 (生鮮食品小売業)
- ・家電は、家時間の増加により増加傾向。電気工事についても例年と同様の受注量。 (家電製品)

サービス業

業況は、固定客やリピーターの確保から、改善しているが、引き続き高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、ワクチン接種による収束の期待があるものの、業況は、ほぼ横ばいであり、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・主要取引先が旅館業のため依然として業況は悪い。他県からの顧客は大幅に減少。 (配膳・清掃)
- ・コロナ禍が収束したとしても、以前と同じ状況には戻らず、旅行の形態も変化していくと思われる。 (旅行業)
- ・車販売については例年と比較し横ばい。修理等メンテナンスは外出自粛の影響により減少。 (車販売・修理・点検)

- ・GoTo トラベルの効果から一転、緊急事態宣言により売上の減少。夏場の観光シーズンまでにワクチン接種が普及し、外出が制限されないことを期待。

(民宿)

建設業

業況は、材料価格の上昇による収益や受注が減少したことなどから、悪化している。
今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が続くことから、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ウッドショックによる建築資材の高騰を懸念。今後の仕入単価上昇を考慮しコストカットに努める。

(一般住宅建設業)

- ・新型コロナウイルス感染拡大前と比較し、売上や受注にそこまで影響は出でていない。市町村からの受注は増加傾向。人材確保が急務。

(造園工事業)

- ・コロナ禍の影響により、県外の工事の中止や延期が相次ぎ、売上高は大幅に落ち込んだが、今後は前年延期になった工事が始まったため受注は好調。

(機械設備工事)

不動産業

業況は、コロナ禍の影響が長期化することから、横ばいとなっている。
今後の見通しとしては、ワクチン接種による経済回復への期待がある一方、コロナ禍の長期化への懸念もあることから、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響は大きくない。不動産価格も大きな変化なし。

(不動産売買・仲介業)

- ・輸入木材不足から、自社保有アパートの修繕が滞る。

(土地分譲・不動産売買・仲介・賃貸)

- ・分譲地の工事は着々と進み、景気回復への期待が表れている。

(不動産売買業)

- ・中古住宅の販売は順調。一方、商品物件の値上がりが利益を圧迫。

(不動産売買・仲介)

■中部地区

中部では、製造業が▲13.2 ポイント(▲1.9⇒▲15.1)と悪化したものの、卸売業が13.8 ポイント(▲56.7⇒▲42.9)、不動産業が8.8 ポイント(▲23.8⇒▲15.0)と改善し、小売業が2.0 ポイント(▲35.3⇒▲33.3)、建設業が1.7 ポイント(▲28.6⇒▲26.9)とマイナス幅がやや縮小、サービス業が(▲32.0⇒▲32.0) 横ばいであることから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲26.6 から▲26.4 とほぼ横ばいとなった。

製造業

業況は、原材料価格の上昇などから、悪化している。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が長期化し先行き不透明感から、業況はほぼ横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍と世界的な半導体不足の影響により、今後は取引先と価格交渉を進め、利益率の改善を図る方針。

(自動車・二輪部品製造)

- ・令和3年5月現在で3ヶ月分の受注を確保しており、今後は売上の増加を見込んでいる。輸入木材価格が高騰しており、仕入に影響がありそうである。

(家具調仏壇製造)

- ・コロナ禍において、缶入飲料の需要も減少し、受注にも影響が出ている。

(缶飲料製造)

卸売業

業況は、売上、収益に回復の兆しが見えたことから、改善しているが、依然として高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、業況は改善するものの、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・今年度は学校給食の売上が安定しているが、売上の増加を図るために新たな取引先を確保しなければならない。

(牛乳・乳製品)

- ・競争の激化や取引先の減少を受けて売上額はやや減少傾向にある。今後、情報力を強化し販路開拓に力を入れる。
(機械器具卸売)
- ・車両販売が冷えこんでおり、売上に影響が出ている。
(空気圧機器)

小売業

業況は、消費の減少や仕入価格の上昇による収益の減少から、ほぼ横ばいであり、依然として高いマイナス水準となっている。

今後の見通しとしては、消費の減少や仕入価格の高止まりから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・中古車販売は売上が増加したものの、新車は部品が入ってこないため予定より納車が遅れ、売上に影響を及ぼしている。
(自動車修理・販売)
- ・コロナ禍の影響により来店客は減少したままの状況。テイクアウト等新たな取り組みはしているが効果は限定的。
(飲食)
- ・コロナ禍の影響もあり、来店客の減少や中古車仕入市場の停滞(優良車種の仕入)があり、売上の減少に繋がっている。
(中古自動車)

サービス業

業況は、売上、収益ともに回復の兆はあるが、仕入価格の上昇により、高いマイナス水準のまま横ばいである。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響が一時期よりも収まり、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・昨年、コロナ禍の影響によって売上が減少し借入にて資金調達したものの、今年に入り回復傾向となり、売上は増加に転じた。
(自動車整備)
- ・スーパー等食料品販売においては、コロナ禍により需要が高まり売上も増加。新たな販売層の獲得に繋がっている。
(食料品)
- ・人材不足を課題に感じている。
(ビルメンテナンス)

建設業

業況は、公共工事の受注の減少や材料価格の高騰など安定しないため、ほぼ横ばいである。

今後の見通しとしては、受注や施工高の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・技術力が不足しており人材確保が引き続き課題となっている。
(建設)
- ・コロナ禍の状況は今後も不安視している。近時、材料価格の高騰で収益環境の悪化を懸念している。(土木工事)
- ・木材の高騰により、請負価格も同時に引き上げなければならない状況。
(一般建築工事業)

不動産業

業況は、コロナ禍の影響が長期化しているものの、回復の兆しは見えていることから、やや改善している。

今後の見通しとしては、顧客の購買意欲の減退やウッドショックの影響等を懸念しているものの、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大手企業との競争が激化している。
(不動産仲介)
- ・建材の仕入状況が悪化しており、物件の引渡し次期が遅れている等、影響が出ている。
(建売・不動産売買)
- ・コロナ禍の影響に伴い、木材や屋内設備の仕入れが困難となっており、新築やリフォーム設備の交換工事の依頼があるものの延期せざるを得ない状況。
(不動産売買)

■西部地区

西部では、建設業が▲4.0 ポイント ($\Delta 22.7 \Rightarrow \Delta 26.7$) とやや悪化したものの、不動産業が 14.8 ポイント ($\Delta 30.8 \Rightarrow \Delta 16.0$)、サービス業は 9.4 ポイント ($\Delta 38.3 \Rightarrow \Delta 28.9$)、卸売業が 9.3 ポイント ($\Delta 48.1 \Rightarrow \Delta 38.8$)、製造業が 6.5 ポイント ($\Delta 25.2 \Rightarrow \Delta 18.7$)、小売業が 4.4 ポイント ($\Delta 26.5 \Rightarrow \Delta 22.1$) とそれぞれ改善したことから、全産業ベースの業況 DI は前回調査時の▲29.1 から▲23.0 と改善となった。

製造業

業況は、半導体不足が懸念材料となっているものの、売上などの増加から、改善となった。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況はやや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・更なる仕入れ価格の上昇を警戒している。 (木製品加工業)
- ・主要取引先での生産が増加（二輪車・船外機）している。 (二輪車)
- ・半導体不足の影響もあり業況の回復が遅れている。 (自動車)

卸売業

業況は、売上の増加などから、改善したものの、引き続き高いマイナス水準である。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響で以前に比べ小口注文が増加しており、それに伴い配送も増加している。 (生鮮野菜・果実卸)
- ・ネット販売部門が大きく增收となっている。 (寝具関連)
- ・衛生用品等の引き合いは増加傾向にある。 (日用品)

小売業

業況は、巣ごもり需要が継続、個人消費は持ち直しがみられことによる売上の増加などから、やや改善となった。

今後の見通しとしては、販売価格の下降などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・シラス漁など不漁が続いている、それに伴い仕入れ単価が上昇している。 (生鮮魚介小売)
- ・空気清浄機の売れ行きも好調で、在庫も確保できている。 (家電)
- ・巣ごもり需要により売上が増加している。 (フルーツギフト)
- ・外出機会の減少により、ガソリン需要の低下が続いている。 (ガソリン)

サービス業

業況は、売上の増加などから、改善となった。

今後の見通しとしては、売上などの減少から、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・通信機器販売業においては前年同期より来店客、売上等は回復傾向にある。 (携帯販売)
- ・首都圏での緊急事態宣言の発令・延長で、団体客・個人客とも厳しい稼働が続いている。 (宿泊)
- ・レジヤーサービスの利用が低迷しており、客足はコロナ禍以前には戻っていない。 (レジヤー)

建設業

業況は、売上の減少などから、やや悪化している。

今後の見通しとしては、ウッドショックの影響などにより、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・公共工事・民間工事により一定の売上・収益が確保できている。 (総合建設)
- ・コロナ禍で営業活動が難しい中、ウッドショックもあり、受注が厳しい状況である。 (一般住宅建築)
- ・コロナ禍での設備投資の減少を懸念している。 (土木工事業)

不動産業

業況は、売上などの増加から、改善となっている。

今後の見通しとしては、売上の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・家賃収入に若干の変動はあるが、コロナ禍の影響は少ない。 (不動産賃貸)
- ・商品土地については、仕入後、販売による現金回収をいかに早くするかを徹底している。 (不動産売買)
- ・コロナ禍の影響は大きくはなく、管理しているアパートの空室もない。 (不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2021年4~6月期)						前回調査(2021年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	1.3%	11.4%	36.4%	30.1%	20.7%	▲ 38.0	3.5%	12.5%	27.7%	33.4%	22.8%	▲ 40.2
中部地区	0.5%	14.8%	42.9%	34.1%	7.7%	▲ 26.4	5.2%	15.1%	32.8%	33.3%	13.5%	▲ 26.6
西部地区	3.7%	14.3%	41.0%	31.0%	10.0%	▲ 23.0	3.2%	13.2%	38.0%	33.7%	11.8%	▲ 29.1
県内合計	2.5%	13.5%	39.9%	31.2%	13.0%	▲ 28.2	3.6%	13.3%	34.1%	33.6%	15.4%	▲ 32.1

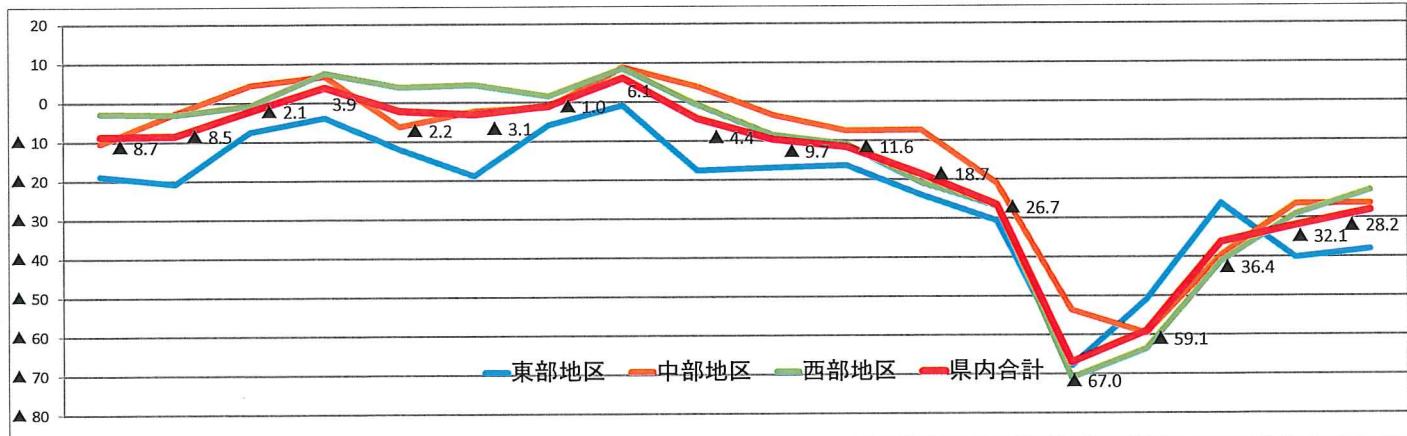
2. 業況予想(全業種)

	2021年7月~9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	0.8%	10.8%	39.4%	34.0%	15.1%	▲ 37.5
中部地区	0.0%	17.1%	44.2%	31.5%	7.2%	▲ 21.5
西部地区	2.2%	11.3%	42.1%	35.2%	9.3%	▲ 31.0
県内合計	1.4%	12.0%	41.6%	34.3%	10.8%	▲ 31.6

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2017年 4~6月期	2017年 7~9月期	2017年 10~12月期	2018年 1~3月期	2018年 4~6月期	2018年 7~9月期	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	2019年 4~6月期	2019年 7~9月期	2019年 10~12月期	2020年 1~3月期	2020年 4~6月期	2020年 7~9月期	2020年 10~12月期	2021年 1~3月期	2021年 4~6月期
	東部地区	▲ 20.7	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2	▲ 40.2
中部地区	▲ 2.7	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7	▲ 26.6	▲ 26.4
西部地区	▲ 3.0	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3	▲ 29.1	▲ 23.0
県内合計	▲ 8.5	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 32.1	▲ 28.2

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2021年4~6月期)						前回調査(2021年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.8%	12.4%	33.6%	32.7%	19.5%	▲ 38.1	3.7%	13.0%	18.5%	43.5%	21.3%	▲ 48.1
卸売業	0.0%	8.6%	45.7%	20.0%	25.7%	▲ 37.1	0.0%	23.5%	29.4%	32.4%	14.7%	▲ 23.5
小売業	1.2%	11.9%	28.6%	38.1%	20.2%	▲ 45.2	4.8%	10.8%	22.9%	28.9%	32.5%	▲ 45.8
サービス業	0.0%	3.9%	23.5%	29.4%	43.1%	▲ 68.6	0.0%	0.0%	15.7%	33.3%	51.0%	▲ 84.3
建設業	1.7%	13.6%	45.8%	32.2%	6.8%	▲ 23.7	5.2%	13.8%	50.0%	29.3%	1.7%	▲ 12.1
不動産業	2.9%	17.6%	58.8%	8.8%	11.8%	0.0	5.9%	20.6%	47.1%	20.6%	5.9%	0.0
全業種	1.3%	11.4%	36.4%	30.1%	20.7%	▲ 38.0	3.5%	12.5%	27.7%	33.4%	22.8%	▲ 40.2

2. 中部地区

	今回調査(2021年4~6月期)						前回調査(2021年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	26.4%	28.3%	24.5%	18.9%	▲ 15.1	11.1%	24.1%	27.8%	25.9%	11.1%	▲ 1.9
卸売業	0.0%	3.6%	50.0%	42.9%	3.6%	▲ 42.9	0.0%	6.7%	30.0%	50.0%	13.3%	▲ 56.7
小売業	0.0%	16.7%	33.3%	46.7%	3.3%	▲ 33.3	2.9%	14.7%	29.4%	38.2%	14.7%	▲ 35.3
サービス業	0.0%	12.0%	44.0%	36.0%	8.0%	▲ 32.0	12.0%	16.0%	12.0%	32.0%	28.0%	▲ 32.0
建設業	0.0%	7.7%	57.7%	34.6%	0.0%	▲ 26.9	0.0%	10.7%	50.0%	32.1%	7.1%	▲ 28.6
不動産業	0.0%	10.0%	65.0%	25.0%	0.0%	▲ 15.0	0.0%	9.5%	57.1%	23.8%	9.5%	▲ 23.8
全業種	0.5%	14.8%	42.9%	34.1%	7.7%	▲ 26.4	5.2%	15.1%	32.8%	33.3%	13.5%	▲ 26.6

3. 西部地区

	今回調査(2021年4~6月期)						前回調査(2021年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	5.4%	18.7%	32.9%	32.3%	10.6%	▲ 18.7	4.8%	15.6%	33.9%	33.9%	11.7%	▲ 25.2
卸売業	0.0%	12.5%	36.3%	30.0%	21.3%	▲ 38.8	0.0%	15.6%	20.8%	44.2%	19.5%	▲ 48.1
小売業	4.4%	11.8%	45.6%	29.4%	8.8%	▲ 22.1	1.5%	17.6%	35.3%	29.4%	16.2%	▲ 26.5
サービス業	4.4%	6.7%	48.9%	35.6%	4.4%	▲ 28.9	0.0%	6.4%	48.9%	34.0%	10.6%	▲ 38.3
建設業	0.0%	9.3%	54.7%	30.7%	5.3%	▲ 26.7	4.0%	5.3%	58.7%	26.7%	5.3%	▲ 22.7
不動産業	2.0%	6.0%	68.0%	22.0%	2.0%	▲ 16.0	1.9%	5.8%	53.8%	32.7%	5.8%	▲ 30.8
全業種	3.7%	14.3%	41.0%	31.0%	10.0%	▲ 23.0	3.2%	13.2%	38.0%	33.7%	11.8%	▲ 29.1

4. 県内合計

	今回調査(2021年4~6月期)						前回調査(2021年1~3月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.2%	18.1%	32.6%	31.6%	13.5%	▲ 22.7	5.3%	16.0%	29.9%	35.2%	13.7%	▲ 27.7
卸売業	0.0%	9.8%	41.3%	30.1%	18.9%	▲ 39.2	0.0%	15.6%	24.8%	42.6%	17.0%	▲ 44.0
小売業	2.2%	12.6%	35.7%	36.3%	13.2%	▲ 34.6	3.2%	14.1%	28.6%	30.8%	23.2%	▲ 36.8
サービス業	1.7%	6.6%	37.2%	33.1%	21.5%	▲ 46.3	2.4%	5.7%	27.6%	33.3%	30.9%	▲ 56.1
建設業	0.6%	10.6%	51.9%	31.9%	5.0%	▲ 25.6	3.7%	9.3%	54.0%	28.6%	4.3%	▲ 19.9
不動産業	1.9%	10.6%	64.4%	18.3%	4.8%	▲ 10.6	2.8%	11.2%	52.3%	27.1%	6.5%	▲ 19.6
全業種	2.5%	13.5%	39.9%	31.2%	13.0%	▲ 28.2	3.6%	13.3%	34.1%	33.6%	15.4%	▲ 32.1

資料 3

・業種別予想

1. 東部地区

	2021年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	11.1%	39.8%	35.2%	13.9%	▲ 38.0
卸売業	0.0%	17.1%	34.3%	31.4%	17.1%	▲ 31.4
小売業	2.4%	7.1%	33.3%	40.5%	16.7%	▲ 47.6
サービス業	0.0%	3.9%	25.5%	43.1%	27.5%	▲ 66.7
建設業	0.0%	11.9%	54.2%	27.1%	6.8%	▲ 22.0
不動産業	2.9%	20.6%	52.9%	14.7%	8.8%	0.0
全業種	0.8%	10.8%	39.4%	34.0%	15.1%	▲ 37.5

2. 中部地区

	2021年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	21.2%	44.2%	19.2%	15.4%	▲ 13.5
卸売業	0.0%	10.7%	42.9%	42.9%	3.6%	▲ 35.7
小売業	0.0%	10.0%	33.3%	53.3%	3.3%	▲ 46.7
サービス業	0.0%	20.0%	40.0%	32.0%	8.0%	▲ 20.0
建設業	0.0%	19.2%	50.0%	26.9%	3.8%	▲ 11.5
不動産業	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0
全業種	0.0%	17.1%	44.2%	31.5%	7.2%	▲ 21.5

3. 西部地区

	2021年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.0%	16.3%	38.7%	32.3%	9.7%	▲ 22.7
卸売業	0.0%	6.3%	34.2%	41.8%	17.7%	▲ 53.2
小売業	4.4%	7.4%	42.6%	38.2%	7.4%	▲ 33.8
サービス業	2.3%	0.0%	45.5%	47.7%	4.5%	▲ 50.0
建設業	0.0%	9.3%	48.0%	36.0%	6.7%	▲ 33.3
不動産業	0.0%	3.9%	64.7%	27.5%	3.9%	▲ 27.5
全業種	2.2%	11.3%	42.1%	35.2%	9.3%	▲ 31.0

4. 県内合計

	2021年7月～9月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	15.7%	39.5%	31.6%	11.2%	▲ 25.1
卸売業	0.0%	9.9%	35.9%	39.4%	14.8%	▲ 44.4
小売業	2.7%	7.7%	36.8%	41.8%	11.0%	▲ 42.3
サービス業	0.8%	5.8%	35.8%	42.5%	15.0%	▲ 50.8
建設業	0.0%	11.9%	50.6%	31.3%	6.3%	▲ 25.6
不動産業	1.0%	12.4%	60.0%	21.9%	4.8%	▲ 13.3
全業種	1.4%	12.0%	41.6%	34.3%	10.8%	▲ 31.6